

桜歯ニュース

2025. 4. 15
VOL.226



日本大学歯学部ホームページ： <https://www.dent.nihon-u.ac.jp/>



すべては患者さんの笑顔のために！

学部長 飯沼 利光

皆さん、いよいよ新学期が始まりました。そして、新入生の皆さん、日本大学歯学部ご入学おめでとうございます。2025年が皆さんにとり、充実した価値ある1年となるよう、日本大学歯学部の全教職員はしっかりとサポートをして、皆さんの歯科医療従事者になるとの目標に向け応援します。

ところで皆さん、学祖である佐藤運雄先生は今から100年以上も前に、当時の日本の歯学が基礎医学の知識に乏しく技術偏重であったため、「医学的歯学」の教育理念、すなわち、歯学を単に口腔や歯だけにとどめず、全身との関連において組織的に学ぶことの重要性を強調されました。今ではこの考えに異を唱える人はいませんが、当時としてはかなり先駆的な考え方でした。このように自分が正しいと思うこと、医療の進歩に貢献する可能性があることに全力でぶつかるとはとても意義深く、素晴らしいことです。成功するためのはっきりとした道筋がなくても、その方法を自ら学び、自ら考え、そして自ら道をひらくことの大切さを日々の生活から皆さんに学び取って欲しいと思っています。歯科医師の仕事はただ単にお口の機能を回復させるだけではなく、人と人との心のつながりを取り戻すための大きな役割も担っています。今はまだ皆さんの目にはハッキリとは映っていないかもしれませんが、皆さんにはその使命があります。そして、日本全国には将来皆さんからの治療を待ち望んでいる大勢の人々がいることを忘れないでください。

皆さんの一人一人がその使命を感じ、その思いを糧に学生生活を有意義に過ごしてくれることを期待します。

(教授 歯科補綴学第Ⅰ講座)

新入生の皆さんへ

歯学の学びを確かなものに

学務担当 林 誠



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる歯科知識と技術の習得は、将来の患者さんに貢献するための重要な第一歩となります。それらの修得には低学年時での基礎固めが重要

で、これが共用試験、臨床実習、歯科医師国家試験、さらには歯科医師としての実践に直結します。その基礎固めに必要な早期からの学修習慣の確立と自ら進んで学ぶ姿勢の修得のために、「歯科医師になる」という目的意識を常に持ち続けてください。学びの中で迷いや困難を感じることもあるかもしれませんが、目指すべき姿を忘れず、一歩ずつ前進しましょう。社会に求められる歯科医師に向かって皆さんが充実した学びを得られるよう、教職員一同全力でサポートします。(教授 歯科保存学第Ⅱ講座)

充実した学生生活を

学生担当 菊入 崇



新入生のみなさん、日本大学歯学部の入学おめでとうございます。4月からは、歯学部学部生としての新しい生活が始まります。期待に胸を膨らせているものと思われま

す。大学生としての6年間は、人生のなかでもっとも思い出に残る時期となります。ぜひ自分のやってみたいことに精一杯挑戦して、充実した日々を過ごして欲しいと思います。もちろん、歯科医師になるまでには、多くのハードルを乗り越えて行くこととなります。その過程において、多くの仲間を作ることが大切となります。同級生だけでなくクラブ活動の先輩など、多くの親交を深めることはとても重要です。本学部では、皆さんを支援する様々なプログラムを用意しています。これらを有効に活用し、有意義な大学生生活を送ってください。(教授 小児歯科学講座)

「継承と創造」

同窓会会長 横江 順



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ようこそ日本大学歯学部へ。皆さんを新たに仲間としてお迎えすることは、私たち同窓会にとっても大変喜ばしく、本会を代表して、お祝いと歓迎の意を表しま

す。また、ご家族や関係者の皆さまにも心からお慶び申し上げます。日本大学歯学部同窓会は、大正5年(1916年)4月15日に学祖である「佐藤運雄」先生が36歳で東洋歯科医学校を設立し、大正10年(1921年)4月15日に同窓会が発足し、本年で104年を迎えることとなります。その輝かしい伝統と実績は、在校生と卒業生に自信と誇り、そしてステータスをもたらします。同窓会は、「継承と創造」をビジョンとして掲げ、母校を思い、歯学部・在校生・卒業生に惜しみない多様な支援を続けます。そのために、次世代を担う皆さんへ明確なメッセージを発信できるよう対話を大切にいたします。夢と希望を抱き国民社会に貢献する歯科医師を目指してください。きっと、あらゆる場面で全国の同窓先輩の方々が必ずや笑顔で迎えてくださいます!

気づき

後援会会長 織井 弘道



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そして、これまで支えてこられたご家族の皆様にも、心よりお祝い申し上げます。

皆さんは今、新たなステージの入口で期待と不安が入り混じる中、この一歩を踏み出した事でしょう。歯科医師になる同じ目標を持った学部に入った以上、もはや周りは競い合う敵ではなく、共に成長し、高め合う存在です。目指すべきは、最短で国家試験の合格を勝ち取り、一人前の歯科医師として羽ばたく事。皆さんで切磋琢磨し一致団結して頑張りましょう。

そしてこれからの学生生活で最も大切な事は、何をすれば効率的に成果を上げられるか気づく事です。我々後援会も皆さんが最高の環境で学び、成長できる様、全力で支え応援していきます。

学生会より

学生会会長 西出 怜央



歯科医師への道、第一歩を踏み出された皆さん、ご入学おめでとうございます。

歯科医師は人の健康と直接向き合う責任ある専門職です。私は昨年 Student Dentist として初めて患者さんの歯のクリーニングを実際に行い、「ありがとうございます」と笑顔で感謝された日を今も忘れません。常に相手の気持ちになって考え、接するよう心がけています。

歯の健康は健康寿命を伸ばします。これから私たちが超高齢社会の一翼を担う力となるはずです。日本大学の先生は親身で、仲間と切磋琢磨できる恵まれた環境が整っています。クラブ活動や趣味などありある毎日を謳歌してください。縦横の繋がりの広さも我が大学の自慢です。皆さんと交流できることを楽しみにしています。(第6学年)

クラブ協議会より

クラブ協議会会長 川崎 泰誠



新入生の皆さん、こんにちは。クラブ協議会会長の川崎泰誠です。クラブ協議会は、歯学部内のクラブ活動を統括し、支援する組織です。まずは、歯学部へのご入学、心よりお祝い申し上げます。これから始まる歯学部での生活が、皆さんにとって充実し、楽しいものとなるよう願っています。

歯学部には、多くの個性豊かなクラブがあります。それぞれが皆さんを迎えるために様々な工夫を凝らした勧誘を準備しています。ぜひ興味のあるクラブに積極的に参加してみてください。クラブ活動を通じて、同級生だけでなく先輩方ともつながりを持つことができます。このつながりは、学生生活を豊かにし、将来においても大きな財産となるでしょう。

クラブ協議会は、皆さんのクラブ活動がさらに良いものとなるよう全力でサポートします。一緒に楽しい学生生活を作り上げましょう！(第5学年)

事務局の紹介

【教務課】 入学時の学生証の発行から歯科医師国家試験受験に関する手続きまで、授業や試験などの勉学に関する事務手続きを扱っています。勉学上必要な事項は『学部要覧』や『授業計画(シラバス)』に記載してありますので、これらによく目を通してください。また、授業や試験に関する連絡は NU-Mail 等で行います。そのため、常に NU-Mail 等を確認する習慣を身につけてください。

【学生課】 快適で充実した学生生活を送るために様々な支援を行っています。窓口では通学証明書や学割の発行、忌引届や住所変更届などの諸届けの扱い、各種奨学金の手続きなどを行っています。また、クラス懇親会に対する助成手続、学生会やクラブ活動に関する相談や助言なども行っています。さらに、球技大会、桜歯祭、リーダーズキャンプ、全日本歯科学生総合体育大会(歯学体)などの学生行事にも携わっています。

【学生支援室】 皆さんが学生生活を過ごしていく上での様々な問題について、学生の立場に立って相談に応じています。「こんなことを相談するのは恥ずかしい」などと気がねせず、気軽に訪問してください。6年間の学生生活では、辛いこと、困ったこと、誰かに話を聞いてほしいこと、様々なことがあると思います。他人にとっては些細に思えることでも、本人にとっては、とても大事なこともあります。相談員は、インテーカーの資格をもつ教員(月曜日昼休み)に加え、日本大学本部学生支援センターより、臨床心理士が配置されています(火～金曜日)。守秘義務のある専門家が、皆さんの立場になって話を聞きますのでプライバシーは厳守されます。他者に話をすることで、気持ちが整理されたり、新たな視点に気付くことがあるかもしれません。学生生活に何らかの困難を感じた時、選択肢の一つとしてください。

【保健室】 学生と教職員の皆さんが、大学生活や職場において心身共に健康で充実した時間が過ごせるよう、学校医兼産業医(金曜日午後)、精神科医(第2・4木曜日午後)、看護師(平日、土曜不定期)が、健康の保持増進のための支援をしています。学生の皆さんは、日頃より自身の体調や健康状態に関心を持ち、健康管理に心がけていただくと共に、生活の中で健康に関する悩みや相談が生じた場合には、いつでも保健室(3号館1階)に相談をしてください。

【図書館】 学修、研究を支援するため、学術情報や学修スペースを提供します。生命科学分野の図書、雑誌を中心に収集、整理、提供をしています。電子ブック、検索データベースなどのオンライン資料も充実しており、学外からの利用が可能です。ラーニングcommons、グループスタディルームを設置し、図書館資料の他、インターネット、ホワイトボード等を利用した自由な学びをサポートします。また、利用者と資料を結ぶため、図書館員による相談サービスを提供しています。図書館ウェブサイトから各種の申込みをオンラインで行うことが可能です。

クラス主任・担任メッセージ

第一学年

主任	納村 泰弘	教 授	歯 科 矯 正 学
担任	佐藤 紀子	准 教 授	健 康 科 学
担任	渡辺 孝康	准 教 授	化 学
担任	湯口 眞紀	専任講師	解 剖 学 II
担任	工藤 圭紘	助 教	歯 科 放 射 線 学

納村主任：ご入学おめでとうございます。これから歯科医師への道が始まります。今の皆さんの気持ちを察すると、緊張と不安でいっぱいでしょう。しかし、言い換えれば興奮と期待の表れでしょう。感じ方はそれぞれです。まずは、大学生活に慣れることです。皆さんが最高のパフォーマンスを発揮できる1年であるよう応援しています。

佐藤担任：「これって意味、あるんですか？」目の前にあることに意味があるかどうかは、皆さんのその時の行動で決まってくると思います。まずは日本大学歯学部での1年間をより良いものにするよう、自分で考え、工夫して、行動していきましょう。皆さんを応援していきます。

渡辺担任：歯科医師を目指すにあたり、歯学部では6年間かけて学修します。第1学年では教養系科目をはじめとする多くの科目を学びますが、予習・復習が肝心です。手遅れになる前に自ら行動しましょう。その際、教員への相談も積極的に選択肢の一つとして下さい。

湯口担任：歯学部での日々は歯科医師としての基盤を築くための大切な学びの時間です。授業を通じて知識や技術を習得するだけでなく大学生活で得られる友人との交流や様々な経験もまた自己を成長させる貴重な学びです。どうか努力と情熱を惜しまず学びを深めてください。

工藤担任：ご入学おめでとうございます。6年間という大学生活が始まり、



新しい場所や新しい生活、出会いにワクワクしつつも、ドキドキする気持ちもあることでしょう。皆さんが実り多く、充実した学生生活を送れるようにサポートしていきたいと思えます。

第二学年

主任	松本 邦史	教 授	歯 科 放 射 線 学
担任	藤原 恭子	准 教 授	解 剖 学 I
担任	田邊 奈津子	准 教 授	生 化 学
担任	岩崎 太郎	助 教	歯 科 補 綴 学 III

松本主任：早期臨床見学実習を経て、歯科医師への志を新たにしたことでしょう。自分の目標に向かい、これからの5年間をどう過ごしますか？自ら考え、行動し、学びを深めるだけでなく、医療人としても大きく成長してください。困ったときは、いつでも私たちを頼ってください。一緒に、充実した学生生活を築いていきましょう。

藤原担任：進級おめでとうございます。第2学年では、歯科医師になるために必要な基礎知識を学ぶこととなります。学業は大変ですが、クラブ活動や学校行事なども楽しみながら、バランスの取れた学生生活を送ってください。何かありましたら、気軽に相談に来てください。

田邊担任：第2学年は、歯科臨床のために必要な歯科医学を本格的に学ぶ学年です。日々の努力の積み重ねが結果につながります。皆さんにはこの1年自分のすべき事を考えて行動してもらいたいと願っています。皆さんが充実した1年を過ごせるよう担任としてサポートさせていただきます。

岩崎担任：進級おめでとうございます。第2学年は歯科医師として身につけなければならない多くの基礎科目を学修する重要な時期です。大変な時もあるかもしれませんが担任一同、最大限サポートしていきますので一緒に頑張りましょう。もちろん、課外活動への積極的な参加も強くすすめます。

第三学年

主任	川戸 貴行	教 授	衛 生 学
担任	近藤 真啓	准 教 授	法 医 学
担任	石山 未紗	専任講師	小 児 歯 科 学
担任	伊藤 恵吾	助 教	歯 科 補 綴 学 III

川戸主任：進級おめでとうございます。第3学年では多くの歯科臨床科目の履修が始まります。また、学生生活においてクラブ活動や行事等をけん引する場面も増えると思います。新たな学びや経験とこれまで体得した事が繋がりが広がる＝新たなフェーズを迎える第3学年の皆さんが充実した1年を送れるように、学年担任とともに支援していきます。

近藤担任：第3学年では、臨床歯学の講義が主体となります。これまでの2年間で学修してきた基礎医学の知識と連結しながら学びを進めて行きましょう。また、課外活動にも積極的に参加して学年の枠を超えた人間関係の構築に努めましょう。きっと、将来の宝物になります。

石山担任：ご進級おめでとうございます。今年度よりクラス担任を務めさせていただきます石山です。3年生からは臨床に関する講義や実習が始まります。学業はもちろんですが、時間を有意義に使ってクラブ活動等にも一生懸命に取り組み、充実した1年を過ごせるようにサポートしていきます。

伊藤担任：今年度からクラス担任を務めます。3年生は臨床科目の講義や実習が増える学年です。ここで基礎を定着させることが、この先の学年で大きな意味を持ちます。大変なことも多いと思いますが、まわりの友人と支えあいながら健康に留意してこの一年を過ごしてください。

第四学年

主任	米 永 一 理	教 授	摂食機能療法学
担任	二 宮 禎	准 教 授	解 剖 学 I
担任	三 澤 麻 衣 子	専任講師	医 療 人 間 科 学
担任	白 土 博 司	助 教	口 腔 外 科 学 II

米永主任：第4学年は、歯科医師としての臨床的な仕事の理解が深まるため、楽ではないですが、楽しい時期となります。一方で、学ぶことも多く、不安を取り払い、自信を持って進級するためには、圧倒的な勉強量が必要となります。お互いに励まし合い、切磋琢磨するよい仲間(クラス)作りをし、毎日3時間以上の自学自習を目指しましょう。

二宮担任：第4学年では、臨床に関わる教科を学修し、公的化されたOSCEとCBTを受験することになります。皆さんであれば、いずれも容易にクリアできると思いますが、油断は禁物です。第4学年は、人として成長する時期でもあるので、何事にも高い意識を持って取り組んで下さい。

三澤担任：今までの大学生活では、成功と失敗を数多く経験してきたことと思います。経験を積み重ねてきたからこそ、第4学年では安心した学生生活が過ごせ、よい結果を出し始める時期だと思っています。充実した1年を過ごせるように、皆で一緒に頑張ってください。

白土担任：今年度の第4学年クラス担任を務めて参ります。臨床に即した実習・講義が中心となる学年です。これまで身に付けてきた学修方法をブラッシュアップし、公的化された共用試験(CBT、OSCE)受験に向け準備して下さい。本年が皆さんにとって良き1年となるよう、サポート致します。

第五学年

主任	野 間 昇	教 授	口 腔 内 科 学
担任	馬 谷 原 琴 枝	准 教 授	歯 科 矯 正 学
担任	西 尾 健 介	専任講師	歯 科 補 綴 学 I
担任	角 田 麻 里 子	助 教	病 理 学

野間主任：いよいよ第5学年となり、院内実習が始まります。公的化初のCBT・OSCEを突破し、素晴らしい成果を収めましたね。院内実習では知識や技術を磨くだけでなく、歯科医師としての方向性も見えてきます。この勢いを保ち、クラス一丸となって国家試験を突破しましょう。

馬谷原担任：進級おめでとうございます。いよいよ臨床実習が始まります。これまでの知識を医療の現場で実践し知見を深めるとともに、医療チームの一員としての協調性や患者さんとのコミュニケーション能力を養う貴重な機会となります。これまでとは異なる学習環境で戸惑うこともあると思いますがこの経験から多くのことを学べるはずで、充実した実習となるよう頑張ってください。

西尾担任：病院実習が始まります。皆さんは共用試験を突破していますので、自信を持って実習に臨んでください。この一年は皆さんの歯科医師としての将来を左右する重要な一年になるかもしれません。実習を通じて、自分の興味がある歯科分野について考えてみてください。

角田担任：新5年生の皆さん、進級おめでとうございます。いよいよ登院となり、実際の臨床の現場へ立つことになり、様々な経験をしたいと思います。これから1年間をかけて、自分が目指す歯科医師、将来像を悩みながら育んでいって下さい。

第六学年

主任	浅 野 正 岳	教 授	病 理 学
担任	篠 塚 啓 二	准 教 授	口 腔 外 科 学 I
担任	陸 田 明 智	准 教 授	歯 科 保 存 学 I
担任	伊 藤 智 加	専任講師	歯 科 補 綴 学 I
担任	安 田 裕 康	助 教	歯 科 補 綴 学 II

浅野主任：皆さん、進級おめでとうございます。いよいよ最終学年、締まっていこう！以前からお話しているように、生活にメリハリをつけて、大いに遊び、大いに学んでください。そうは言っても、1年間は長い。悩んだら話をしに来ること、抱え込むなよ。歯科医師免許はもう目の前だ！歴史を作れ！そして、とにかく突っ走れ！

篠塚担任：本年度から皆さんのクラス担任となりました。この学年は卒業、国家試験合格という大きな試練が待っています。プレッシャーに打ち勝つには、対策を練り、具体的に行動すること、そして最後は「自分を信じることができるか！」が重要です。共に明るい未来を切り開きましょう。

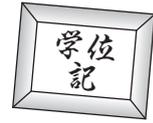
陸田担任：いよいよファイナルステージです。同級生とともに学修だけではなく、大学生という特別な時間を楽しみ、有意義で充実したものにしてください。今後、歯科医師としてさまざまな道を歩むことになると思いますが、最後に頼りになるのは苦楽をともにした同級生です。

伊藤担任：進級おめでとうございます。いよいよ最終学年となりました。学生生活の集大成です。素晴らしい未来のために「がむしゃらに頑張る1年」にしてください。将来、振り返った時にそれも大切な思い出の一つになるはずで、我々も皆さんを精一杯、サポートさせていただきます。

安田担任：進級おめでとうございます。今年はどうとう最終学年になる6年生になります。今まで学んできた事を踏襲して国家試験に向かって頑張ってください。体力的にも精神的にも一年間大変ですが、サポートしていきますのでよろしくお祈りします。



105名に学士(歯学)の学位記を伝達



3月25日、本学部本館大講堂(創設百周年記念講堂)において、学位記伝達が行われました。飯沼歯学部長から学位記が伝達され、併せて学長賞、優等賞、学部長賞等の授与が行われました。同日、大学院歯学研究科修了者26名にも本学部4号館大会議室にて、博士(歯学)の学位記が伝達されました。



一ツ子綾乃さんに学長賞

日本大学は各学部において、在学中の学業成績が最も優れていた者に学長賞を授与しています。本年度の受賞の栄誉に輝いたのは一ツ子綾乃さんでした。



一ツ子綾乃：この度は名誉ある賞を頂き誠に光栄に思います。この6年間は入学当時に思い描いていたような大学生活を送れない時期もありましたが、毎日が目紛しく進み、共に困難を乗り越えた仲間と一緒に今日を迎えられたことを幸せに思います。そして、ご指導くださった先生方、毎日支えてくれた家族、学舎で得られた友人や先輩後輩との縁に心から感謝しております。卒業後も初心を忘れず、努力を重ね精進して参ります。

医師になるということを目標に全力で勉学に励むことができたと思います。このような環境を与えてくれた両親、先生方、友人には感謝しています。ありがとうございました。



福田季央：この度は名誉ある賞を頂き、大変光栄に思います。この6年間は一つ無駄なものはなく日々が積み重なり今の自分を築き上げたと感じると同時に、ここまで頑張ってきたのは家族や友人、先生方の支えがあってのものだと痛感しています。この場をお借りして深く御礼申し上げます。優等賞を頂いたことを忘れず、この6年間の糧にし、ここから始まる歯科医師人生も更なる研鑽を努めてまいります。



令和6年度卒業生3名に優等賞

学業成績が学長賞に準ずる者に授与されるのが優等賞です。本年度は内本侑那さん、高嶋優也さん、福田季央さんの3名が受賞されました。



内本侑那：この度は名誉ある賞をいただき、大変嬉しく光栄に存じます。6年間に渡りご指導ご鞭撻を賜りました先生方、楽しい時も大変な時も身近にいてくれた友人、家族、全ての方々の支えがあったからこそ今の私があると思っています。心より感謝申し上げます。今後もより一層研鑽を積み、自らを高めていけるよう、そして1人でも多くの方々のお力になることができるよう日々努めてまいります。

高嶋優也：この度は、優等賞という素晴らしい賞をいただいたこと、大変嬉しく思います。この6年間、歯科



学部長賞を8名が受賞

優等賞に準じた功績を修めた者に授与される部科校長賞には、学業部門、学術・文化部門、スポーツ部門、善行部門、その他があります。本年度は、学業部門：稲生優介さん、小池香穂さん、田崎亜実さん、徳永陸斗さん、橋本紋伽さん スポーツ部門：朴法力さん、その他：高嶋優也さん、橋本紋伽さん、山岸佳子さんの8名が受賞されました。



歯学部同窓会会長賞を3名が受賞

人物優秀で、学業・体育などの部門で優秀な成績を修め本学部の名誉を高揚した者、ならびに学生生活活動の推進に著しく貢献し、本学部の発展に功績が認められた者に授与される同窓会会長賞を、大山泰世さん、中村優花さん、渡邊琴実さんの3名が受賞されました。



稲生優介



小池香穂



田崎亜実



徳永陸斗



橋本紋伽



朴法力



高嶋優也



山岸佳子



大山泰世



中村優花



渡邊琴実

卒業に際して

令和6年度卒業生代表 山岸 佳子

入学から卒業までを振り返ると、大変なこともありましたが、それ以上に楽しい思い出が多く充実していました。

6年間の学生生活の中で、平常試験、定期試験、CBT、OSCE、統合試験、国家試験と、休む暇もなく試験が続きました。途中何度も挫けそうになりましたが、勉強の相談をするなどお互いに励まし合う

ことのできる学年の雰囲気があったおかげで、何とか乗り越えることができたと感じています。

また、私にとって6年間を通して得た最大の財産は、同級生や先生方、先輩、後輩との出会いです。勉強だけでなく、クラブ活動や球技大会、桜歯祭、京都研修などの行事にも力を入れている日本大学歯学部だからこそ、さまざまな人とのつながりを築くことができ、貴重な経験を積むことができました。

最後に、私たちの学生生活を支えてくださった教職員の皆様、どんな時も応援してくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。



新教授 紹介

「社会に有為な 歯科医師の養成」



紙本 篤

令和6年10月1日付で、本学総合歯科学分野の教授に就任いたしました。当分野は平成18年度からの歯科医師臨床研修制度必修化に合わせ、必修化2年前の平成16年4月に研修歯科医

の指導を専任で担当するために、当初は研修診療部卒直後研修科として創設されました。現在は、附属歯科病院において総合診療部総合診療科として、歯科医師臨床研修プログラムの企画、検討および運営を主業務とし、学部教育においても、第1学年の歯科臨床早期見学実習、第3学年の歯科臨床見学実習、第5学年の診療参加型臨床実習と「社会に有為な歯科医師の養成」を主眼に、基礎実習教育および臨床教育を担当しております。

臨床の場では、総合的な歯科治療計画の立案や高頻度歯科治療における指導を行っています。昨今、歯科医療では、単一の治療にとどまらず、患者さん一人ひとりの状態に合わせた柔軟なアプローチを必要とします。そのために、歯科医療の各領域を横断的に学び、臨床現場で生かせる知識や技術を習得することが重要と考えております。総合歯科学分野では、歯科治療の各領域を統合的に学ぶことに主眼を置いて教育しているため、臨床実習生や研修歯科医の皆さんにとって非常に有意義な学びの場を提供できると確信しています。

学生には、座学だけではなく実習やシミュレーションを通じて、現場で必要な知識と技術を学び、自信を持って臨床に臨めるよう、実践的なスキルを身に着けるための支援を行いたいと考えています。研修歯科医には、多くの臨床経験ができる機会をつくり、実践から学生時代に学んだ知識、態度、技能をさらに磨いてもらえるよう指導していきます。また、医療現場でのコミュニケーション能力や倫理観も大切にし、患者さんとの信頼関係を築く力をやしなうことにも重点を置きたいと思っております。

これからも歯科医師として、教育者として、日々精進してまいります。学生と研修歯科医の皆さんと共に成長し、未来の歯科医療に貢献できるよう全力を尽くす所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

(教授 総合歯科学分野)

【略 歴】

平成3年3月日本大学歯学部卒業、平成8年3月日本大学大学院歯学研究科修了。日本大学助手、専任講師、准教授を経て令和6年10月本学教授。博士(歯学)。58歳。

「30年ひと昔」



納村 泰弘

令和7年4月1日より歯科矯正学講座の教授に就任致しました。100年弱の講座の歴史を考えるとその重責に身の引き締まる思いです。経歴をみれば、本講座にずっと在籍していた積み

重ねで今の私があります。思うと、その月日はあっという間でした。本学を卒業して30年になりますが、それは世の中の変化を実感できる長さです。例えば、大学周辺のお店は大きく変わりましたし、いわゆるガラケーからスマートフォンなど携帯の形態も大きく変わり便利になりました。論文検索についても、昔は態々図書館に行っていたものが、今では自分の机でインターネットサイトから簡単に行えます。矯正歯科臨床においても、マウスピース型の矯正装置や歯槽骨にスクリューを植立する固定源など新しい治療法が現れました。しかし、それらは進化したのか煩雑になったのか、便利になったのかいい加減になったのか。最近では、惑わされたり多勢に無勢なことも見受けられたりするSNS社会です。良くも悪くも情報過多の状況で、何が正しくてどんな治療が最善であるのか混乱する状態になっています。

また、今日まで矯正用材料の創意開発的研究や臨床実証的研究を積み重ねてきました。その際、迷いながらも独創性のあるテーマを探するため、故きを温ねて新しきを知るをヒントに、こんなものがあつたらいいのに、これってホント?の探求心や批判的吟味を研究マインドの芯としてきました。平日頃から、考えでも技術でもしっかりした基本を持っていれば、それを芯にすることで惑わされても躊躇せず、自信を持った対応がとれるものだと思っています。しっかり構築された基礎に、肉付けするよう知識量を増やすイメージは日頃の勉学にも当てはまることです。自ら考え、道を切り開いていく母校の理念を実践するためにも、確固たる芯の構築が何より重要です。そんな思いを後輩たちに伝えて行きたいと考えています。

(教授 歯科矯正学講座)

【略 歴】

平成7年日本大学歯学部卒業、平成12年日本大学大学院歯学研究科修了。日本大学助手、助教、専任講師、准教授、令和4年度日本大学海外派遣研究員(オスロ大学)を経て、令和7年4月本学教授。博士(歯学)。54歳。

101年目のスタートライン



松本 邦史

令和7年4月1日付で、歯科放射線学講座の教授に就任いたしました。本講座は1924年の創設以来、多くの優れた研究者・臨床医を輩出してきました。そのような本講座を率いることと

なり、大きな責任を感じるとともに、その伝統を未来へと繋げていく決意を新たにしております。今年で101年目を迎える本講座ですが、「101」という数字には英語圏で「入門編」という意味のスラングがあります。まさに、新たな100年のスタートラインに立っている今、私自身も初心に立ち返り、未来を見据えた教育・臨床・研究に全力を尽くしてまいります。

私の専門である画像診断学は、日進月歩で進化する分野です。AIを活用した画像診断や画像生成技術の発展により、10年前には想像もできなかったことが、今や当たり前のように臨床現場で活用されています。この急速な変化の中で取り残されないためには、常に新しい知識と技術を柔軟に取り入れる姿勢が不可欠です。

私は入局当時、パソコンの電源の切り方すらわからない大学院生でした。「自分で調べ、試し、失敗しながら学ぶ」ことを繰り返し続けた結果、今では本学部のDX関連の業務の中心的役割を任されるようになりました。これに限ったことではなく、臨床、研究、さらには教育においても、多くの挑戦と失敗を重ねながら、新たな知識とスキルを身につけ、新たな目標やアイデアを見つけることができました。だからこそ、学生の皆さんには、「自ら学ぶ」、そして「挑戦し続ける」姿勢を大切にしてほしいと願っています。皆さんが安心して学び、挑戦し、そして失敗を恐れずに前進できる環境を整えていくことも、たくさんの失敗を繰り返しながら成長してきた私の大切な役割の一つと考えています。本学の未来に向け、これからも教職員、関係者、そして学生の皆さんと共に学び、共に失敗しながら成長していきたいと思っております。

(教授 歯科放射線学講座)

【略 歴】

平成14年日本大学歯学部卒業、平成18年日本大学大学院歯学研究科修了。日本大学助教、鹿児島大学病院講師、日本大学准教授を経て、令和7年4月本学教授。博士(歯学)。47歳。

令和7年度 歯学部予算の概要

経理長 樋口 肇

令和7年度歯学部予算について計上した特徴的な事業計画及び収支状況は以下のとおりです。

1 予算計上した特徴的な事業計画

①「新カリキュラム」推進に向けた取り組み	《継続事業》
②本館及び3号館・4号館計画修繕	《継続事業》
③老朽化した施設・設備等の更新	《継続事業》

2 歯学部総合予算(事業活動)の収支状況

令和7年度 歯学部総合予算	
事業活動収入合計	69億701万円
事業活動支出合計	74億1,708万円
基本金組入前収支差額	△5億1,007万円
基本金組入前収支比率	△7.38%

令和7年度予算概要は、上記に示した数値のように収支は依然としてマイナス状況が続いておりますが、昨年度と比較してマイナス幅は1.5%(約9,000万円)ほど縮小しております。また主なマイナス要因は実際に資金の動かない減価償却額(9億4,000万円)に依るところです。

本年度の予算は、昨年度に引続き教育・研究及び医療環境の整備・充実と財務状況の健全化です。

新規事業として施設・設備関係では3号館のキュービクル更新、機器備品では医療事務システムネットワーク機器更新等の予算が計上されています。この他にも各種修繕や機器更新のための予算が計上されています。

収入では歯科衛生専門学校が3学年充足することにより学費収入の増加、堅調な医療収入の増加が見込まれます。

また財政健全化の目指す先は次代につなぐための貯金ですが、残念ながら未だ目に見える形での貯金は出来ていません。これは現在、繰越支払資金が定められた金額(約12億円)を保有していないため、この確保を第1と考えております。少しずつでも部内に資金を残すことを目指します。

限りある資金を有効に活用し教育・研究及び医療環境の維持・充実に努め、またこの先の歯学部100年を目指して、予算の執行に際しては、その重要度や緊急度を再度検討いただき効果的・効率的に執行されるよう重ねてお願いいたします。

球技大会に向けて

球技大会実行委員長 山口 大翔



今年度も球技大会を開催できること、とても嬉しく思います。前回の球技大会は、多くの人々が共に楽しい時間を過ごすことで、横のつながりだけでなく、縦のつながりも深まった、素晴らしい場となりました。普段は交流が少ない先輩と後輩の絆を深める事で、チームワークやコミュニケーションの大切さを実感することができたと思います。伝統あるこの大会をさらに良いものにするよう、昨年の経験を活かし、実行委員一同、全力で準備を進めていきたいと思ひます。皆さんにとって忘れられない素晴らしい大会になるよう頑張りますので、ぜひご参加ください。心よりお待ちしております。(第4学年)

令和7年度歯学部進学相談会

- 第1回 6月15日(日)
 - 第2回 7月20日(日)
 - 第3回 8月24日(日)
 - 第4回11月 1日(土) (桜歯祭と共催・相談ブースのみ)
- ※実施方法等は、歯学部ホームページをご確認ください。

Webオープンキャンパス

歯学部ホームページで、歯学部紹介や模擬授業の動画、バーチャル校内見学を配信しています。

専門学校進学相談会

日時：第1回 5月18日(日) }
 第2回 6月 8日(日) } 10時00分～13時00分
 第3回 7月 6日(日) } (予約制)
 第4回 8月24日(日) }

場所：日本大学歯学部3号館

概要

- 個別相談：本学専任教員が各種相談を承ります。
- 校内見学：講義室、実習室等を見学します。
- 体験実習：
 - 《技工専門学校》
歯科用材料を使用し、技工操作の一部の体験ができます。(随時)
 - 《衛生専門学校》
11：00より専任教員による実習体験を行います。
※両校とも体験実習への参加は受験生のみとなります。

NewsPlus α

☆謝恩会が開催されました

令和6年度卒業生主催による謝恩会が、令和7年3月12日(水)東京會館において、飯沼利光学部長、横江順同窓会会長、織井弘道後援会会長、卒業生、御父母、後援会、教職員などが出席し盛大に開催されました。

☆令和7年度リサーチアシスタント、ティーチングアシスタントが決定

RA…北野 晃平

TA…新井 聡美・小野美紗恵・我喜屋 佑・堀越 大地・岡野 真之・西原 佑哉・星野 恵佑・西澤英里佳・新井 智美・吉川 可菜・小見山 奏・松浦 玄武・青木 真由・池上 聡一・伊藤 圭祐・稲見 亜紀・菅谷幸之介・菅谷 侑真・吉谷 実莉

学 事

令和7年度上村安男・治子研究費給付者

(所属・資格は令和7年3月31日現在)

生理学講座	准 教 授	林 良憲
感染症免疫学講座	教 授	今井 健一
薬理学講座	専 任 講 師	山本 清文

令和7年度佐藤研究費(研究)給付者

(所属・資格は令和7年3月31日現在)

(口腔科学系)

解剖学第I講座	専 任 講 師	大橋 晶子
解剖学第II講座	専 任 講 師	湯口 眞紀
生理学講座	専 任 講 師	坪井 美行
生化学講座	准 教 授	津田 啓方
病理学講座	助 教 授	角田麻里子
感染症免疫学講座	准 教 授	田村 宗明
薬理学講座	専 任 講 師	山本 清文
歯科理工学講座	助 教 授	竹鼻 康輔
衛生学講座	専 任 講 師	中井久美子
法医学講座	助 教 授	岡野 雅春
口腔内科学講座	助 教 授	河合 佳奈
歯科保存学第I講座	教 授	宮崎 真至
歯科保存学第II講座	教 授	林 誠
歯科保存学第III講座	教 授	佐藤 秀一
歯科補綴学第I講座	専 任 講 師	西尾 健介
歯科補綴学第II講座	教 授	萩原 芳幸
歯科補綴学第III講座	助 教 授	岩崎 太郎
歯科矯正学講座	准 教 授	納村 泰弘
小児歯科学講座	助 教 授	伊藤 寿典
歯科放射線学講座	助 教 授	工藤 圭紘
歯科麻酔学講座	教 授	岡 俊一
摂食機能療法学講座	教 授	米永 一理
口腔外科学第I講座	助 教 授	長崎 真希
口腔外科学第II講座	助 教 授	白土 博司

(基礎科学系)

基礎自然科学分野(生物学)	助 教 授	小林 理美
---------------	-------	-------

論文博士

(令和7年3月10日付)

Alleviation of bAPN-induced bone deformity by the suppression of developing muscle activity
(胚発生中の筋活動抑制によるbAPN誘発性骨変形の緩和)

湯口 眞紀

課程博士

(令和7年3月25日付)

- Alcichthys elongatus* の口咽頭歯と鰓耙およびその二次突起 玉木理一郎
- Larger recurved caniniform teeth characteristics of *Caprodon schlegelii* (*Caprodon schlegelii* に特徴的な大型の反曲犬歯状歯) 本淨 敏
- Role of macrophages in trigeminal ganglia in ectopic orofacial pain associated with dental pulp inflammation in rats (歯髄炎により生じる異所性口腔顔面痛に対する三叉神経節内マクロファージの役割) 須永 美希
- ADP signaling in trigeminal ganglion contributes to masseter muscle pain in rats (三叉神経節におけるADPシグナルは咬筋痛に関与する) 澤田 懂
- 歯学部付属歯科病院における患者動向および診療体制にCOVID-19流行が及ぼした影響 武内 伸賢
- A study of the effects of curcumin on short-chain fatty acid-induced gingival epithelial cellular damage (肉肉上皮細胞における短鎖脂肪酸誘発細胞障害に対するクルクミンの効果に関する研究) 平澤 貴行
- Chondrogenic cell responses to inorganic polyphosphate and insulin 無機ポリリン酸とインスリンに対する軟骨形成細胞の応答 藤樹 立明
- IL-1 receptor type 1 によるIL-1 α の細胞内分解調節に関する研究 坂保 万智
- Higher brain responses to nociceptive stimuli of the periodontal ligament in mice (マウスにおける歯根膜侵害刺激に対する上位中枢応答) 大熊理沙子
- Leptin receptor 陽性細胞のlow-density lipoprotein receptor-related protein 1欠損が骨形成に与える影響 飯谷 仁志
- Interleukin-1 シグナル伝達における toll/interleukin-1 受容体ドメインの重要性 笹川 剛志
- 有限要素法を用いた上顎歯列弓遠心移動時の正中口蓋縫合部スクリュー周囲骨の応力解析 米山 敏弘
- HAX-1 による pIL-1 α の細胞内局在変化および分泌効率について 今岡 紗耶
- Instability of interleukin-1 receptor type 1 (インターロイキン1タイプ1受容体の不安定性) 森山 鮎子
- ユニバーサルアドヒージブ応用型2ステップ接着システムのエナメル質初期接着強さの経時的推移 岩瀬 慶
- Influence of bonding agent application method on the dentin bond performance of a two-step system utilizing universal adhesive (ボンディング材の塗布法の違いがユニバーサルアドヒージブを応用した2ステップシステムの象牙質接着性能に及ぼす影響) 嘉月 駿
- 亜鉛ガラス含有グラスファイブノーマーセメントが脱灰象牙質の再石灰化に及ぼす影響 庄司 元音
- Epstein-Barr virus reactivated by *Pseudoramibacter alactolyticus* induces cytokine expression in periapical granulomas (*Pseudoramibacter alactolyticus* により再活性化した Epstein-Barr virus は歯根肉芽腫中でサイトカイン発現を誘導する) 宮田 泰俊
- 終末糖化産物はCa9-22細胞のClaudin 3および4発現を抑制する 米山 理沙
- Effect of the collagen membrane with bone morphogenetic protein-9 on osteogenesis in a rat mandibular bone defect model (Bone morphogenetic protein-9 添加コラーゲン膜によるラット下顎骨欠損モデルの骨造成への影響) 近藤 宏樹
- Evaluation of a delayed resorbable membrane in rat guided bone regeneration. (ラット頭蓋骨再生における遅延型吸収性メンブレンの評価) 渡邊 泰斗
- Inflammasome responses to titanium particles in human gingival epithelial cells (ヒト肉肉上皮細胞におけるチタン顆粒に対するインフラマソーム反応) 和久田 慎
- Effects of *Bidens pilosa* extract on RANKL-induced osteoclast-like cells formation in RAW264.7 cells (*Bidens pilosa* 抽出物がRAW264.7細胞におけるRANKL誘導性の破骨細胞様細胞の形成に及ぼす影響) 福澤 京子
- フッ化ナトリウムが歯肉線維芽細胞のFGF-2とTGF- β 1発現および細胞外マトリックスタンパク産生に及ぼす影響 加藤 伸依
- リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液の塗布がPMMA系CAD/CAMブロックの表面性状に及ぼす影響 南里 圭哉
- Effects of changes in oxygen concentration on osteoclast induction by periodontal ligament cells (酸素濃度の変動が歯根膜細胞における破骨細胞の誘導に及ぼす影響) 長谷 賢知

寄付金の受け入れ

= 佐藤奨学・研究基金 =

【企業】

- 5万円 株式会社フラット (代表取締役 佐藤 寿延 殿) 1.21
- 30万円 株式会社サトウ商会 (佐藤 孝子 殿) 1.21
- 1万円 医療法人社団治世会金子歯科医院 (理事長 金子 治 殿) 1.27
- 1万円 オートドント会 (田淵 美佐 殿) 1.27
- 5万円 蓼科印刷株式会社 (代表取締役 井出 浩太郎 殿) 1.27
- 2万5千円 富士フィルムメディカル株式会社 (東京支社支社長 望月 雄二 殿) 1.31
- 1万5千円 株式会社リガク (グローバルプロダクトX線イメージングリーダー 佐々木 勝成 殿) 1.31
- 10万円 PSP株式会社 (近藤 貴之 殿) 1.31
- 10万円 朝日レントゲン工業株式会社 (代表取締役 今岡 俊成 殿) 1.31
- 50万円 株式会社モリタ (代表取締役 森田 晴夫 殿) 1.31
- 2万円 クロステック株式会社 (代表取締役 佐土原 強 殿) 2.10
- 50万円 株式会社モリタ製作所 (代表取締役社長 田中 博 殿) 2.14
- 1万円 株式会社タングラボ・ジャパン (濱田 吉嗣 殿) 2.17
- 10万円 株式会社ジーシー (篠崎 裕 殿) 2.20

【個人】

- | | |
|-------------------|------------------|
| 3万円 前野 正夫 殿 1.22 | 1万円 田口 望 殿 1.30 |
| 5万円 佐藤 秀一 殿 1.22 | 1万円 石塚 亨 殿 1.30 |
| 1万円 林 誠 殿 1.22 | 1万円 河合 泰輔 殿 1.30 |
| 2万円 二宮 禎 殿 1.23 | 1万円 野田 豊文 殿 1.30 |
| 5万円 荒木 正夫 殿 1.23 | 1万円 小野 龍 殿 1.30 |
| 3万円 藤田 智史 殿 1.23 | 2万円 三枝 禎 殿 1.30 |
| 5万円 浅倉 翔一 殿 1.24 | 1万円 村松いづみ 殿 1.31 |
| 10万円 横田 昌彦 殿 1.24 | 1万円 宮崎 洋一 殿 1.31 |
| 1万円 菊 崇 殿 1.26 | 1万円 西山 新一 殿 1.31 |
| 1万円 中野 善夫 殿 1.27 | 1万円 武市 収 殿 1.31 |
| 2万円 小林 馨 殿 1.27 | 2万円 萩原 芳幸 殿 2.3 |
| 2万円 音成 実佳 殿 1.28 | 3万円 川戸 貴行 殿 2.3 |
| 3万円 松田 幸子 殿 1.28 | 1万円 御影 文徳 殿 2.3 |
| 1万円 大島 一夫 殿 1.28 | 1万円 西内 千明 殿 2.5 |
| 1万円 内藤 龍彦 殿 1.28 | 3万円 永山 隆治 殿 2.5 |
| 1万円 木村 一之 殿 1.28 | 3万円 中嶋 昭 殿 2.6 |
| 3万円 吉本 彰宏 殿 1.29 | 2万円 清水 治 殿 2.7 |
| 10万円 本田 和也 殿 1.29 | 2万円 吉本 彰宏 殿 2.14 |
| 1万円 出縄かおる 殿 1.29 | 2万円 飯久保正弘 殿 2.16 |
| 3万円 島田 淳 殿 1.29 | 1万円 佐藤 文明 殿 2.18 |
| 1万円 太田 英一 殿 1.30 | 5万円 鈴木 敏浩 殿 2.20 |

= 特別寄付金 =

- 9万3千477円 日本大学歯学部学26回クラス会 (代表 坂梨 公彦 殿) 1.15

編集後記

令和7年度が始まり2週間が経ちました。この時期は街のいたるところで、夢と希望に満ちた表情の若者を見ます。大学構内でも、とまどいながらも生き生きとした表情の学生達をみるのは楽しく、羨ましくもあります。教員、職員の方々もわかりです。この桜歯ニュースは年に4回ほど発行されますが、この4月号だけが印刷されます。年4回のうち、一番目につく号、そして、内容もご覧のように新生活に関する希望に満ちたものが多く含まれる号になります。

コロナは開けましたが、世の中は混んとした状況にあります。毎年、色々なことが起き、価値観も変化していきますが、学生の皆さんの目的は決まっています。学生の皆さんが、また教職員の皆さんが、その本分を全うすることが出来るよう、この先の生活の参考になるよう、そしてモチベーションが上がるようなニュースを桜歯ニュースを通じてお伝えできればと思います。(S.O)

表紙の写真は佐藤紀子先生 (健康科学分野) にご提供頂きました。

お知らせ

歯学部行事予定

- 4月 2日(水) 新入生オリエンテーション
 3日(木) 開講式及び新入生オリエンテーション
 7日(月) 第1～4学年前期授業開始
 12日(土) クラブガイダンス・実験動物慰霊祭
 18日(金)・19日(土) 第1学年オリエンテーション
 5月 16日(金)・17日(土) 健康診断
 22日(木) 球技大会
 6月 7日(土) 後援会総会
 15日(日) 第1回歯学部進学相談会
 7月 20日(日) 第2回歯学部進学相談会

国家試験等

= 第118回歯科医師国家試験 =

試験は2月1日(土)・2日(日)に東京工科大学蒲田キャンパスで行われ、本学部の新卒の受験者は105名でした。

第226号 日本大学歯学部発行
 東京都千代田区神田駿河台1-8-13 TEL 03 (3219) 8001